



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
<http://www.bunsei-art.ac.jp>
発行 教務部・学報編集係

命

学校法人宇都宮学園理事長 上野孝子



夢にも思っていないでし
た。

八月二十九日、奥様から
宮下先生が亡くなったお知
らせの電話があり、それか
らの私は、悲しみのどん底
に落とされ、希望のない日々
を送りました。十年間にわ
たり、私に絵のご指導をく
ださり、十回の個展(そのう
ちの二回は、バリとニュー
ヨーク)を開催することが
できたのも、先生のご指導
によるものです。作家でな
い私が個展を開き、先生の
温かく熱心なご指導をいた
だいたことがすべて夢のよ
うになり、虚無と絶望が私
を取り巻きました。

そうした中で私は、一冊
の本を見つけました。元国

会議員、森山眞弓先生の息
子さんの太郎君を追悼する
文集です。太郎君は高校二
年生の時に、運動の事故に
より亡くなりました。ご両
親の悲しみと苦しみはいか
ばかりであろうとお察し申
し上げます。四十年前も前の
ことでありますが、命のは
かなさが、多くの人々の追
悼文から感じられました。
命とは自分一人のもので
はありません。家族とその
周りの人たち、友人や先生
など、それらの人のために
自分の命があるのだと思い
ます。だからこそ、命は尊く、
一生懸命生きなければなら
ないのです。一人の人間が
大人になるまでの周りの人々
の期待と夢は、自分一人の

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

ものではないのです。両親、
兄弟、友人、先生、その他大
勢の人たちの希望と夢が、
君たち一人ひとりにかかっ
ているのです。自分の命は
自分だけのものとは思わな
いでください。命を大切に
すれば、八十年、九十年と未
来は開けてゆくのです。生
きていくためには、大きな
夢と希望を持ち、一步一步
前進して行かなければなら
ないのです。そして、周りの
人たちに感謝しなければな
らないのです。感謝の気持
ちがあれば、どんなことで
も無事に進むのです。

森山太郎君の事故は、運
動で起きたことであり、そ
れは運が悪かった、つまり
天命であったのでしょう。
不慮の事故はいたしかたな
いですが、そうしたことで
はなく、自ら自分の命を縮
めたり、また、他人の命を縮
めるといふ罪深いことはし
てはいけません。どんな理
由があっても、人は人を傷
つけてはいけません。

人はそれぞれ、自分を大切
にするとともに、他人も大
切にしなければならぬの
です。

人にはそれぞれ夢があり
ます。一人ひとりがその夢
に向かって前進して行つて
ほしいと思います。二度と
ない人生を、二つとない命
を大切にしてください。

上野憲示学校長 文部科学大臣表彰受賞

本校の上野憲示学校長が、
十月二十一日に開催された
全国私立学校審議会六十周
年記念式典において、私立
学校審議会委員功労者とし
て文部科学大臣表彰を受賞
されました。

- 1p <理事長より>
- 2p <雄飛祭・秀文杯>
- 3p <輝け!!文星健児>
- 4p <雄飛祭・ハイキング>
- 5p <芸術体験・文星散歩道⑫>
- 6p <文星フォトギャラリー>

中学校行事予定

- ▽一月
- 7日(金) 第三回入学試験
 - 11日(火) 第二学期始業式
 - 12日(水) 課題整理テスト(二年)
 - 12日(水) 前期学力診断テスト(二年)
 - 12日(水) 前期学力診断テスト(三年)
 - 13日(木) スキー教室(二年)
 - 13日(木) 中大連携授業(二年)
 - 17日(月) 学校長講話
 - 22日(土) 日本伝統文化(茶道)
 - 31日(月) 後期学力診断テスト(三年)
- ▽二月
- 5日(土) 学力推移調査(二年)
 - 8日(火) 立志式(二年)
 - 17日(木) 授業参観
 - 18日(金) 予餞式・予餞会
 - 24日(木) 予餞式・予餞会
 - 24日(木) 学年末考査
 - 26日(土) 日本伝統文化(茶道)

高校行事予定

- ▽一月
- 11日(火) 第三学期始業式
 - 12日(水) 14日(金) 前期入学試験(臨休)
 - 14日(金) センター試験受験者激励会
 - 15日(土) 16日(日) 大学入試センター試験
 - 17日(月) 校内漢字テスト
 - 24日(月) 校内漢字テスト
 - 24日(月) 学年末考査(三年)
 - 31日(月) 後期入学試験(臨休)
- ▽二月
- 18日(金) 予餞式・予餞会
 - 19日(土) 新人生一日入学
 - 28日(月) 第三学年修了式
 - 同窓会入会式

高等学校

生徒会から こんにちは!

こんにちは。生徒会役員の山根です。年末のこの時期、3年生はセンター試験直前で忙しいため、今回の記事は2年生の僕が担当することになりました。よろしく願います。

今年の雄飛祭は、天気にも恵まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。土曜日、日曜日ともにとても盛り上がりしました。

まずは土曜日。今年は、文星女子高で「男装コンテスト」が開催されたことに便乗して、本校では「ミスコン」がオープニングセレモニーにおいて開催されました。初開催にもかかわらず、10名を超える生徒が出演してくれました。

笑い目当ての生徒もいましたが、ほとんどが本気で女装していて、当初考えられていた内容よりはるかにクオリティーの高いコンテストとなりました。大いに盛り上がり、投票でミス文星を決定する際も、票は割れ接戦でした。私のクラスメイトや友達からも、「予想以上だった」「来年も」という感想が多く聞かれました。生徒会の田中先生は、「これ、雄飛祭の正式行事にしてもいいね」と、「ミスコン」を恒例行事にすることを目論んで

いるようでした。

また、雄飛祭のポスターを描いた、普通科美術デザインコース2年の辻正朗さんの表彰がありました。祭りの雰囲気を高め、雄飛祭を大いに盛り上げてくれました。その他にも、生徒によるバンド演奏、和太鼓部の演奏、先生方のパフォーマンスもあり、セレモニーは大いに盛り上がりしました。そして日曜日。昨年は新型インフルエンザの影響で雄飛祭は開催されず、一年生と二年生は、今年が雄飛祭初体験でした。

準備では、不慣れながらも、早いクラスは夏休み前から話し合いを重ね、一般公開当日は様々な趣向を凝らした催し物が軒を連ねていました。特に食催は、他店に負けない味と値段、目立つ看板、さらに、注文から商品を提供するまでの手際、接客など、店の質を高め、周りの店と一線を画そうと、多くの努力をしている様子が見られました。

食催以外にも、射的や、金魚すくい、PTA主催の餅つきなどもありました。特設ステージでは毎年、生徒や先生方による、様々なパフォーマンスが発表されていきました。特設ステージは雄飛祭の目玉企画。校外からの参加も認められていることもあり、毎年、参加者が増え、大変な賑わいを見せています。生徒参加のカラオケ大会もあり、大

いに盛り上がりつつありました。今年度の雄飛祭のテーマは「熾盛(しじよう)」でした。このテーマの通り、燃え盛るような祭りになったと思います。三年生にとつては最後の雄飛祭、一年生・二年生にとつては最初の雄飛祭というこれまでにない状況の中、全校生徒で頑張ったことが成功の要因であったと思います。

また、今年初めて生徒会役員として雄飛祭に関わり、先生方は毎年こんなに変なのかとつくづく思いました。裏での先生方の活躍も成功の必要不可欠な要素なのだと思います。

最後に、お忙しい中、雄飛祭にご来場してくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。皆様の力をお借りして、雄飛祭は大成功を収めることができました。どうもありがとうございました。来年もぜひまた雄飛祭にいらしてください。お待ちしています。



雄飛祭、楽しい!

秀文杯校内体育大会

十一月五日(金)、秋晴れの空の下、秀文杯校内体育大会が行われました。秀文杯とは、スポーツが大好きであった前校長先生の御命日に毎年実施される体育大会です。

「ムカデ競走」「大縄跳び」「二人三脚」「リレー」の各種目があり、各学年、クラスごとに練習の成果を発揮できたことと思います。また、先生方のリレーもあり大いに盛り上がりしました。

そのような熱気あふれる中での圧巻は、2年7組が全ての種目において一位を獲得し、完全優勝を果たしたことです。

競技を通じてクラスが一丸となり目標に向かって進むという経験は、皆さんの高校時代の大きな財産になったことでしょう。

【総合成績】

《優勝》	
一学年	一組、七組
二学年	(同点優勝) 七組
三学年	七組
《準優勝》	
一学年	なし
二学年	三組
三学年	五・六組

総合体験/総合学習

【調理】

◇三年生

九月三十日・十月一日、ホテル丸治・総料理長の樋山三郎先生をお招きして、和食の特別実習の授業を行いました。先生は本校卒業生でもあり、在学中のことや厳しかった修行時代のことなどの体験談を生徒に語っていただきました。

【スポーツ】

◇二年生

十月十五日、スポーツ選択者はトヨーボウルにおいてボウリング実習を行いました。投げる際の立ち位置や、板目などを考えながら投げ、ワンランク上のプレーを楽しみました。

◇三年生

十月二十七日、スポーツ選択者は、戦場ヶ原でのトレーニング実習に参加しました。晴天の中、男体山を眺めつつ自然を満喫しました。

【総合学習】

◇三年生

十一月十一日、総合ビジネス科は鳥山で和紙作りを体験。ハガキサイズの和紙をすきました。冷たい水にもかかわらず、生徒は失敗しないよう慎重に紙をすいていました。また十一月十八日には、日光彫体験をしました。日光彫の特長であるひつかり刀を使い伝統工芸の素晴らしさを体験しました。

就職氷河期の再来!

就職指導部 湊谷 浩司

昨年より急激に厳しくなった就職戦線。近年においては公立高校においても企業訪問をする学校が年々増えてきているが、本校においては十数年前より企業訪問を行い、企業との信頼関係の構築に努めてきた。この春先においては約100社にのぼる企業を訪問し、OBの就業状況を聞くなど企業との親睦を図り、また、今年度の採用計画なども事前に聞き出した。その中、生徒も現在の就職状況を理解し、夏休みなどを活用して就職試験に向けて活動する姿が見られた。

その努力が功を奏して、一次試験においては昨年よりも良い結果となり、半数以上の生徒が内定を得た。11月末現在で内定を得た生徒は8割を超えてきたが、依然不透明な社会経済ではこの先の就職活動に不安は残る。

しかし、昨年も、最後の一人が内定を得たのは卒業式を終えてからのことである。これから先も厳しい状況が予測されるが、文星で培った精神でこの就職氷河期を必ず突破し、社会へと巣立ってもらいたい。

輝け!! 文星健児 部活動報告

十月から十二月にかけて行われた、大会結果などをご報告します

※(英) 英進科
※(普) 普通科
※(総ビ) 総合ビジネス科

卓球部

県新人戦澤島選手制覇!!

ダブルスも健闘

十一月十三日(土)から行われた県高校新人卓球大会シングル決勝戦、本校卓球部の澤島雅孝選手(普二年)が高久選手(青藍)を破り、見事優勝を果たした。また、ダブルスにおいても、澤島・井口貴晃(普一年)組が堂々の準優勝に輝いた。

柔道部

県新人戦個人準優勝

団体の部3位入賞

十一月六日(土)から行われた県高校新人スポーツ大会個人の部において、66kg級で本校の嶋田純伍選手(普二年)、100kg級で制野真純選手(普二年)が見事準優勝、60kg級で神谷厚師選手(普二年)、90kg級で水戸部将志選手(普一年)がそれぞれ3位入賞を果たした。また、団

体では大田原高校を破り、3位入賞を果たした。

剣道部

中部支部新人大会

個人の部上位を独占!!

十一月二十六日(金)から開催された、平成二十二年中部支部新人剣道大会個人戦で本校の田村真吾選手(普二年)が見事優勝を果たし、2位に笹渕泰雅選手(普二年)、3位に山岸了選手(普一年)と本校勢が上位を独占した。

バスケットボール部

ウィンターカップ県予選

本戦出場ならず

十一月三日(水)に行われた全国高校バスケットボール選抜優勝大会県大会準決勝戦において、本校バスケットボール部は作新学院に敗退。ウィンターカップ2年連続出場の夢は果たせなかった。3位決定戦では、栃木工業を破り、3位入賞を果たした。

テニス部

県新人戦団体3位入賞

十一月三日(水)、四日(木)に行われた県高校テニス新人大会団体の部で宇都宮南を破り、3位入賞を果たした。

関東大会結果

硬式野球部

秋季関東地区高校野球大会

《一回戦》

本校 2-4 千葉経大附

軟式野球

秋季関東高校軟式野球大会

《一回戦》

本校 2-4 高崎商業

陸上競技

関東高校選抜新人陸上競技選手権大会

田代 美砂希(普一年)

《砲丸投げ》 予選敗退

《円盤投げ》 予選敗退

石川 稜(普二年)

《ハンマー投げ》予選敗退

《声援ありがとう

《ごさいました。》

ボウリング

小林選手個人4位入賞!!

九月二十六日(日)から開催されたゆめ半島千葉国体ボウリングの部に、本校の小林龍一選手(総ビ二年)が個人で見事4位入賞を果たした。国体での経験を十二月十七日(金)から開催される全国高等学校対抗ボウリング選手権大会で活かし、全力で勝ち抜いてほしい。

将棋同好会

小倉君、全国大会へ!

十一月七日(日)に行われた全国高校新人将棋大会県予選会決勝戦、本校の小倉一富史君(英二年)は東畑君(黒磯南)と対戦した。一進一退の攻防の末勝利し、一月二十七日(木)から栃木県日光市で開催される、第19回全国高文連将棋新人大会の出場権を獲得した。

美術部

辻君・大橋君、奨励賞を受賞

十一月に行われた栃木県高校美術展において、本校の辻正朗君(普二年)の絵画作品「表情」と大橋直生君(普一年)の絵画作品「野外製作」が奨励賞を受賞した。

写真部

星君、奨励賞を受賞

本校写真部は十二月の県高校総合文化祭に4名7作品を出品。星正憲君(普一年)の、犬が留守番をする様子を捉えた作品「門番」が奨励賞を受賞した。



検定試験取得状況 (十一月末現在)

第43回全商情報処理検定

【二級】

暮林 翔真 鈴木 将太

鈴木 亮

第121回全商電卓検定

【二級】

阿久津友汰 小川 智也

鈴木 啓之 長澤 颯汰

【計算部門一級】

根津 邦彰 伊坂 栄輝

田中 洋光 西片 光一

池田 祐弥 市村 大貴

市村 拓也 海老原佑基

大内 悠也 栗田 拓哉

清水 雄斗 千葉 智行

法橋 秀晃 内田 大貴

倉井 一樹 福島 元寿

牧野 和輝 三浦 一也

御堂進ノ介 吉池 研雄

海老原大輝 古賀 新也

佐藤 和正 鈴木 真治

瀧田 英明 田崎 一茂

ピモンズイーパータウイ

福島 一也

第43回全商ワープロ検定

【二級】

鈴木 将太

【二級】

鈴木 啓之 尾島 志音

田中 洋光

【三級】

伊坂 栄輝 宮嶋 健太

市村 拓也 海老原佑基

大内 悠也 高野 耕司

千葉 智行 吉池 研雄

金子 治樹 木村 達也
小島 祐希 清水 雄斗
竹之内政人 千葉 遼

法橋 秀晃

第162回全経簿記検定

【二級】

齋藤 和鷹

第97・98・100回全経電卓検定

【三段】

小池 祐貴

【二段】

磯 正人

【二級】

暮林 翔真 鈴木 将太

田中 智也 榎本 昌広

関谷 陽太 小川 智也

長澤 颯汰 竹澤 友貴

橋谷 将人 平野 幸冬

小林 祐輝 鈴木 亮

戸崎 成也 橋本 拓也

伊坂 栄輝 川上 陽平

【二級】

根津 邦彰 樋口 武志

阿久津圭汰 阿久津友汰

田中 洋光 磯崎 星太

屋代 幹人

【三級】

大山 力 宮嶋 拓哉

尾島 志音 西片 光一

仲田 和貴 半田 克典

市村 大貴 市村 拓也

海老原佑基 大内 悠也

金子 治樹 木村 達也

栗田 拓哉 高野 耕司

千葉 遼 法橋 秀晃

内田 大貴 倉井 一樹

島田 天佑 福島 元寿

吉池 研雄 神田 圭太

諏訪 和真 富田 貴士

藤岡 慶樹 望月 俊治

宮嶋 健太

中学校

雄飛祭

今年度の雄飛祭は、各クラスとも、準備の段階から気合いの入りが少し違っていました。「少しでも良いものを」と、クラスの仲間と協力し合った時間は、きつとかけがえのない思い出となったことでしょう。

よろこびの雄飛祭

中学校生徒会副会長

二年一組 高橋 英統
 昨年は、インフルエンザの流行で雄飛祭が中止になってしまい、せっかく考えた催しがお蔵入りになってしまいました。そのため、今年度は二年分のアイディアを使い、生徒が一丸となって素晴らしい雄飛祭にすることができたと思います。



1年生 肝だめしの勧誘中!



2年生 おそろいのTシャツで



3年生 なぜか集団で「逃走中」

初日のオープニングセレモニーは、いろいろな企画があつて、とても楽しめました。バンド演奏は、練習する時間がほとんど無かつたのですが、それを感じさせない完成度でした。みんなノリノリで、とても良い雰囲気になりました。また、ミス文星コンテストには、本物と見間違えるほどきれいな男の娘(こ)が出演していて、興奮しました。特に僕は、頭にピンク色のハートをつけた武将の女の子に目をひかれました。本当にかわいかったです。

翌日の一般公開日は、それにも増して盛り上がりました。来客数が、自分の予想よりも、ものすごく多くて驚き、とても嬉しい気持ちになりました。

各クラスの出し物について振り返ると、そのジャンルはスポーツ・飲食物・ゲ



PTAによる売店も好評でした

各クラスの出し物

一年生 「肝だめし同好会」
 二年生 「スポーツパーク」
 三年生 「逃走中!」

秀文杯校内体育大会

十一月五日(金)、秋空の下、秀文杯校内体育大会が開催されました。高校生と一緒に参加する学校行事として、中学生も全学年を赤・白・黄・青の縦割り四チームに分け、競技に参加しました。

今年も、昨年同様二人三脚・ムカデ競争・リレー・大縄跳び・玉入れ・綱引きの全六種目を行いました。順位は次のとおりです。

- 一位 黄組
- 二位 赤組
- 三位 青組
- 四位 白組

優勝した黄組の皆さんおめでとうございました。

生徒の感想

一年一組 手塚 駿
 晴天に恵まれた気持ちのいい朝に秀文杯が始まりました。この秀文杯では文星の中高生全員が参加しました。

僕はこの秀文杯で、多くのことを学ぶことができました。大縄跳びでは、僕のチームはあまり多く跳ぶことが



よいしょ よいしょ

はできませんでしたが、最後まであきらめずにやり抜く団結力を学ぶことができました。何事にも団結して臨めば、学校の雰囲気ももっと良くなるように感じました。

二人三脚で僕はアンカーとして走りました。終始いい勝負をしていたのですが、途中アクシデントが起こり、僕のチームはビリになってしまいました。が、三年生の先輩にリードしてもらい、何とかゴールすることができました。この競技もあまり良い成績ではなかったのですが、みんなが助け合いながらできたことで、チームの絆がとて強く感じました。

秀文杯の中で学んだことをこれから生かしていきたいと思っています。

ハイキング

十月十四日(木)に奥日光方面へハイキングに行ってきました。中学校で、毎年この時期に体力づくりの一環として行っている行事です。今回は竜頭の滝を出発して、小田代が原から湯本までのルートでした。前日の悪天候で、地面がぬかるんできがをする生徒も少なく行ってくることはできました。日本でも有数の奥日光の紅葉の中、前日までの中間調査の疲れを生徒たちは癒すことができました。



全体写真～湯本にて～

芸術体験

十一月十八日(木)に文星芸大で芸術体験が行われました。一年生は、杉山惣二先生の指導のもと彫刻を、二年生は上原利丸先生の指導のもと染織を、三年生は中沖尚行先生の指導のもとデザインをそれぞれ体験してきました。各学年の生徒の感想を紹介します。

一年 辻 正義

今回、初めて文星芸術大学に行き、そこで芸術体験をしてきました。

まず初めに、杉山先生が現代アートについて説明をしてくれました。それから現代アートの写真を見せていただきました。変わった感じの作品が面白かったです。

次に、粘土でハトの置物と好きなものを一つ作りま



一年生 彫刻の様子

した。ハトの置物は先生に教えてもらいながら作りましたが、みんな大きさや形が違うのができ、良かったと思います。

最後には、各自が好きな物を作りました。僕は、茶碗やお皿、小物入れなどを作りました。

短い時間でしたが、とても楽しかったです。

二年 島田 慧

僕は、文星芸大で染織体験をしました。一年生の時は、染物ではなく陶器だったのでとても楽しみにしていました。

初めに上原先生が藍染について説明してくれました。最初、上原先生は少し怖そうだなと印象を受けたのですが、実際はとても面白く優しい先生でした。先生の説明を聞いて、布が染まるのは美術の分野だけでなく理科などが関係していて、



二年生 藍染の様子

酸化還元反応によって藍色に染まるということがわかりました。とても興味深いお話でした。そのあとに、実際に藍染をやりました。染めるといつてもただ藍色の液を染み込ませるのではなく、そのあとに水で洗ったり、いろいろな液体につけたりと、とても大変でした。結局僕の布はあまり液が染み込まなくて失敗してしまいました。が、とても楽しかったです。

三年 岡 秀明

今回行った芸術体験はパソコンのソフトを使って絵を作り、それを缶バッジにするといいものでした。僕は、芸術というものは轆轤(ろくろ)を使って陶器などを作ったり、絵を描いたり、彫刻を作成することだと思っていたので驚きました。

実際にパソコンで作り始めたのですが、初めて使うソフトだったのでよく分かりませんでした。でも中沖先生が丁寧に教えてくれたのでなんとか完成しました。芸術体験に行っているいろいろなことを学ぶことができ、世話になった先生方に感謝したいです。

宇河地区
英語スピーチコンテスト

十月二十日(水)に宇都宮市教育センターにて、宇河地区スピーチコンテストが行われました。結果は以下の通りです。

〈一般の部〉

優秀賞 齋藤 祐貴(一年)
優良賞 野口 大樹(三年)
徳本 祐太(二年)

〈帰国子女の部〉

優秀賞 島田 慧(二年)

各種表彰関係

第十二回うつのみや

ジュニア芸術祭

〈絵画の部〉

金賞 甲賀 優希(二年)
銅賞 皆川 智宏(一年)

〈デザイン部の部〉

銅賞 高橋 英統(二年)
小峰 英也(一年)

〈立体部の部〉

銀賞 佐藤 森吾(二年)
銅賞 奥野 拓也(一年)

金賞 佐々木 裕(三年)
銅賞 奥野 拓也(一年)

〈条幅の部〉

金賞 北條 泰崇(二年)

〈川柳の部〉

金賞 手塚 駿(一年)
銅賞 山本 崇勝(三年)

〈短歌の部〉

銅賞 山本 崇勝(三年)

第七回「新聞を読んで」

優秀賞 小峰 英也(一年)
入選 齋藤 祐貴(一年)

第四十三回下野教育書道展

金賞 佐々木 裕(三年)
銅賞 須藤 直暉(一年)

文星散歩道

(題字 大木教頭)

⑫ 野球少年

国語科 岡里

登

宇都宮に戻ってきて最初に勤務したのが、星が丘中学校。その時の忘れられない野球部員の思い出に少し付き合ってください。少年の名前は、仮にK君。K君の中学三年間での公式記録は「一打数0安打、内野ゴロアウト一つ」これが全てです。K君が初めて公式戦で打席に立った試合は、K君達三年生にとっては最後の夏の県大会。ほぼ試合は決まっています。いよいよ負け試合。K君にとってデビュー戦は引退試合となっていました。

全て負け、一回戦敗退も準備も負けチームに変わらなれ、負けは負け。」と言いつつ続けた私の顔は、学校に帰ってきてから強張ったまま、キャプテンも解散のための号令もかけられずに困っていた様子。そんな時K君と彼のご両親が私の前に歩み寄って来ました。有難うございました。途中で何度かやめようと思った時もありましたが三年間皆と一緒に野球をやってきた良かったです。たつた一打席だったけれど良い思い出もできました。先生と一緒にやってきて良かったです。私はK

君に質問してみました。「どうして野球を続けてきたの。」「野球好きだから。」「横浜で多少名前を知られるようになった。」「若輩監督は、何か少し勘違いをしたまま宇都宮に戻ってきた。僕も野球が好きだった。近所の空き地での三角ベース。僕は野球が好きだった。次の日からの野球部の練習法に少しばかりの変化があった事。肯定できません。自分の原点を色々な意味で振り返らせてくれた、K君との出会い。随分昔の思い出。」「本当に有難う。」

文星フォトギャラリー

